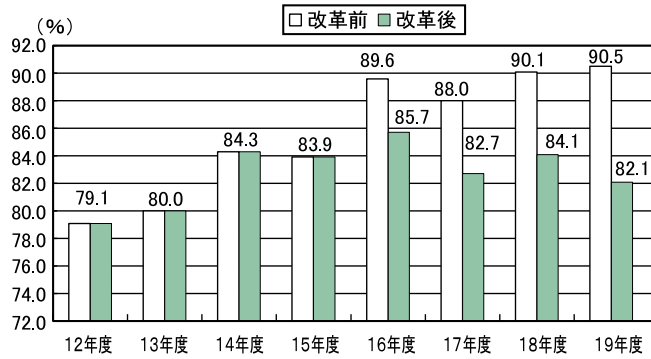




③ 経常収支比率【表3】

財政の弾力性を判断する経常収支比率は、平成15年度は83・9%でしたが、財政状況の悪化に伴い平成19年度90・5%となり、ほとんど投資的事業が実施できない状況になると見込まれていました。
改革後の平成19年度は82・1%となり、行政改革前より改善されています。

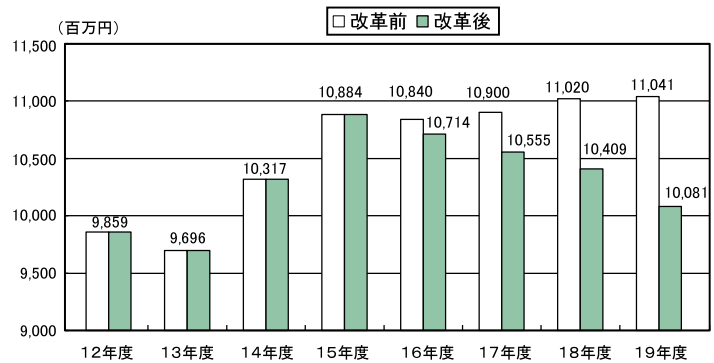
【表3】 経常収支比率



④ 地方債残高【表4】

町が大規模な事業を実施する場合などに借りる地方債の残高は、平成15年度末には109億円でしたが、財源不足により借入れが増加し、平

【表4】 地方債残高



2 松前町の財政の現状

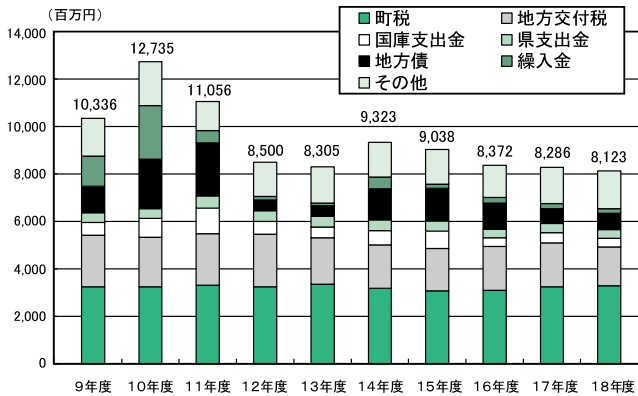
成19年度末には110億円になると見込まれていました。
改革後の平成19年度末は、自主財源で事業を実施したことにより101億円となっており、平成15年度末より8億円減少しています。

松前町の財政状況は、集中的に実施した行政改革により収支の改善が図れ、各種の財政指標は県内市町の中でも上位に位置するようになっていきます。過去10年間の財政状況を基に分析します。

① 歳入の状況【表5】

歳入決算額は、平成10年度は庁舎や岡田中学校管理棟の建設に、平成11年度は福祉センターの建設に多額の事業費を要したため決算額が100億円を超えています。以降は平均で85億円程度となっています。
収入の推移をみると、町税は、ほぼ同額の収入となっていますが、地方交付税、国庫支出金、県支出金は年々減少しています。

【表5】 歳入決算



▲松前町総合福祉センター



▲岡田中学校管理棟